



大野一心

NO.47

令和6年2月6日（火） 文責：校長 諸熊 修一

学校給食週間終わる！

全国学校給食週間は1月24日～1月30日でした。本校では、生徒会の給食委員会が中心となって、給食標語の作成を呼びかけコンテストを実施しました。入選作を何点か紹介します。

「絶品だ いつもの給食 五つ星」

→「五つ星」という表現がいいですね！

「余ったもの じゃんけんで競う 毎日だ」

→学級で盛り上がっている様子が目に浮かんできます。

「四時間目 終わりに見るのは 献立表」

→分かる分かる。その気持ち！

「給食は 残さず食べて 思い届く」

→調理員さんへの感謝の気持ちが伝わってきます。

「給食は ぼくらの笑顔 つくってる」

→おいしい給食を食べると、自然と笑顔いっぱいになりますよね。



私は1月に入ってから、3年生の皆さん（8名～9名）に順番に校長室へ来てもらって一緒に給食を食べています。いろんなことをおしゃべりしますが、「給食は美味しいですか？」と聞くと、ほとんどの人は、美味しいと答えてくれます。好きなメニューについては、多くの生徒がカレーライスと答えます。

以前も学校だよりに書きましたが、私もカレーライスが大好きです。出勤してきて、時々校長室に貼っている献立表を見ることがあるのですが、その日の給食がカレーライスだと分かると、年甲斐もなく朝からウキウキしてしまいます。逆に、昼前からの出張や外勤が入っているときは、献立表を見なければよかったと、ブルーな気持ちになってしまいます。



私は給食を検食する立場ですが、川尻副校長先生には「給食日誌」の記録をお願いしています。家庭科の先生なので、毎日とても詳しく書いていただいて、さすがだなといつも感心しています。ある日の日誌には以下のような記述が載っていました。その日のメニューは「ごはん、さつま汁、ホキの天ぷら、浦上そばろ」でした。

浦上そばろは使われている肉が大きめで歯ごたえがあり、食べ応えにつながりました。天ぷらは自身魚の味がよく、青のりの風味が鼻に抜けて、おいしくいただきました。さつま汁はさつまいもの甘さとみその塩味のメリハリがあってよかったです。豆腐の「す」が立ち気になりましたが、加熱の都合上難しいのかもしれませんが、ごちそうさまでした。

生徒の皆さんも給食を食べ終わった後、友人同士、食レポをしてみてもいいですか。

「お口の中が宝石箱や～」「かつ丼の大運動会や～」「牛の柔軟体操や～」 by 彦摩呂氏